

20%の特典「安曇野市プレミアム商品券」

市と市商工会は、地域経済の活性化、消費拡大を図るため、7月18日から「安曇野市プレミアム商品券」を1万セット限定で発行します。この券は、1セット1万円で2千円分の特典付き。千円券12枚つづりで、取扱店登録した店舗で利用できます。12枚のうち、6枚は大型

取扱店舗を募集

券の取扱店舗を募集しています。手数料は商工会員が1%、非会員は3%。商工会各支所に備え付けの用紙で申請していただきます。詳細はお問い合わせください。

市商工会

(TEL 87・9750 FAX 72・8491)



商品券のイメージ

「デマンド交通」あづみんの利用者が増加

地域公共交通会議兼協議会（会長・平林伊三郎市長）が5月29日、県安曇野庁舎で開かれ、乗り合いタクシー「あづみん」の昨年度の運行状況などが報告されました。

会議では1日あたりの平均利用者について、平成20年度は351人で、19年度を64人上回って

おり、利用者が増加傾向にあることが報告されました。

内訳をみると、性別では女性が78・1%を占め、年代別では、70代以上の利用者が全体の67・4%を占めています。このことから、女性の利用者、高齢の利用者が多い傾向にあることが明らかになりました。また、利用者の



地域公共交通会議兼協議会 (5/29 県安曇野庁舎)

地域別の割合は、豊科が26・4%、穂高が28・8%、三郷が10・6%、堀金が18・9%、明科が14・7%という結果になりました。市企画財政部企画政策課は、「利用方法にも慣れ、それぞれの目的に合わせてご利用いただいている。電話番号の掛け間違いにご注意いただきながら、多くの皆さんにご利用いただきたい」と話しています。

穂高有明に「あおぞら保育園」が完成



名前どおりの「あおぞら」がしゅん工を祝福



園児も一緒にくす玉割り

旧有明保育園から分園化し、この4月に新たに開園していた「有明あおぞら保育園」で5月20日、しゅん工式が行われ、関係者や園児がくす玉を割って祝いました。

新園舎には県産材の木材がふんだんに使われ、木の香りが漂う中で平林市長は、「園の名前も地域と保護者の発案で、一体感が感じられます。地域の皆さんに見守られながら、保護者の皆さんのよりどころにもなるよう願っています」とあいさつしました。

保護者会長であいさつに立った、太田好美さん(穂高有明)は、自分が有明保育園に通っていたころの思い出を交えながら、「この新しい園で、たくさんのお出を作ってください」と子どもたちに話し掛けました。

有明あおぞら保育園は、穂高西中学校の北に総事業費5億6700万円余りで新築され、県からの補助金や一般財源のほか合併特例債が利用されました。また、旧有明保育園の敷地に新築している「有明の森保育園」はこの秋に完成予定です。

「広報あづみの」が全国の市部門で1席

市が発行している「広報あづみの」はこのたび、平成21年全国広報コンクール（社団法人日本広報協会主催）の市の部で、特選に次ぐ1席に入選しました。

このコンクールは、全国自治体の広報技術の向上を目的に毎

年開かれるもので、平成20年中に発行した広報媒体を対象に審査されました。

県広報協会によると、県内から応募した「市の部」では、過去最高位。親子、地域との信頼関係をテーマにした特集「ふれあいのあした」や連結決算など

の公表「市の財政状況を探る！」などを掲載した20年12月号が評価されました。

市は行政からのお知らせはもちろん、今後も市民の皆さんの活動を掲載する予定で、まちづくりを考えるために役立つ紙面を目指しています。